



No.72



NPO教育支援協会北海道 白石友柄 専務理事

【しらいしともえ】

小樽商科大商学部社会情報学科卒。NPO教育支援協会北海道専務理事。合同会社manasobi代表。(一社)北海道熱中機構理事。十勝キャリアデザインネットワーク会長。

昭和50年生まれ、48歳。室蘭市生まれ、札幌育ち、十勝在住。

Q 子どもたちに一言、
学校に行かない子の中には罪
悪感を持っている子が多くいま
す。でも、どうか自分を否定し
ないでください。

次回は住吉聰・七飯町教委生
涯学習推進アドバイザーです。

Q 愛読書・影響を受けた本は『私の個人主義』(夏目漱石)。
「自分と相手、お互いの個性は尊重し合うのが当然である」という一節がシンプルですが好きです。人は孤独な生き物というのが私の根底にあり、だからこそ人と分かれ合えた時、共に、共感の感動が大きく、また違っていて当然という前提なりで人とのずれや違いを楽しめるのだと思います。

Q 仕事に就いたきっかけは? 結婚・出産のあと、31歳でNPOに参画しました。小学校高学年の外国語の授業が導入される頃で、地域ボランティアのコーディネーターを始めました。それに加え放課後子ども教室、プログラミング学習、教育支援センター、放課後等デイサービスなど活動の幅を広げてきました。

Q 仕事で大切にしていることQ 職場の紹介を

今日は正しさ自分を見つけた道、どうしてもやり抜きたいこと、と捉えています。

音更町の教育支援センターで不登校支援を行っています。私たちセンターのスタッフは資格を問わず、教育分野の職歴や経験のある9人が在籍している職場です。

Q マイブーム・趣味は? ライフワーク的に「コミュニケーションづくり」をしています。おどり立っています。周りの心の機微に敏感なので、子どもの対応にも役立っています。このように、私たちセンターのスタッフは資格を問わず、教育分野の職歴や経験のある9人が在籍している職場です。

Q 私の仕事術は? 不登校になつてから親子でいりと調べた結果、発達の偏りが分かったというケースもあります。

熱中小学校では全国から様々なビジネス分野のプロをお呼びして授業を開催しています。授業がきっかけで新しく興味を持つことも多く、最近では「やさ

しい日本語」「エフェクチュエーション」などです。エフェクチュエーションでは女性が仕事、子育ても含めたそれぞれの人生、キャリアについて学んだり励まし合ったりしています。ここでは心理的に安心、安定し、自己暗示ができることがあります。ここでは心理的に安心、安定し、自己暗示ができることがあります。

Q 子どもたちに一言、学校に行かない子の中には罪悪感を持っている子が多くいます。でも、どうか自分を否定しないでください。

どうか自分を、社会を信じてください。

人の「凸凹」が愛おしい

りました。適切な療育、サポートを受けることで子どもの選択肢が広がるだろうと強く思うようになりました。それ自分たちの手で行いたく、放課後等ディサービス開所へつながりました。

また、不登校支援や親子のコ

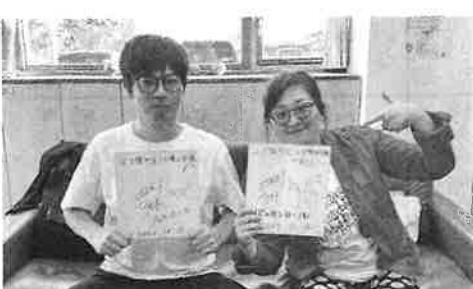
ミュニケーションについての話を聞いていくことも一つの在り方をしています。

また、私自身がHSPの気質があります。一見、弱みと思われるが、それがそのままの気質が職場では強みとなっています。

私は自分の気質をオーブンにしているので、保護者から子どもの気質で相談されることもあります。

そこで、その意味では様々な経歴や背景、趣味、特技、個性を持った地域の大人が子どもたちの支援をしていくことも一つの在り方をしています。

京吉本の芸人・森本英樹さんとコ



講演会での集合写真